

# English Checklist

Essential Patterns and Practice  
for Japanese Learners

日本語に惑わされない英語表現

Hidehiko Konaka



NAN'UN-DO

## **English Checklist**

### **Essential Patterns and Practice for Japanese Learners**

Copyright© 2009

by

Hidehiko Konaka

All Rights Reserved

No part of this book may be reproduced in any form without written permission  
from the authors and Nan'un-do Co., Ltd.

## ● はしがき ●

大学で二十年近く、英作文、英語表現法といったライティング系の授業を担当させていた  
だき、学生たちが書いた英文を添削してきましたが、日本人英語学習者にみられる誤りに、  
あるパターンがあることに気づきます。日本語に引きずられたことが原因で起こる誤りが想  
像以上に多いのです。中学以降に英語を習い始めた日本人の多くが英語を読んだり、書いたり  
するときに、日本語専用の脳回路を利用してしまうのは、脳の仕組みから見ても仕方ない  
のです。そこで、本書は日本語に引きずられない自然な英語表現を習得できるように編集し  
ました。

本書は20のユニットで構成されていますが、どのユニットも同じような構成になっていま  
す。各セクションについて簡単に説明しておきます。

### TODAY'S QUOTATION

偉人や有名人たちの名言を紹介します。

### TODAY'S EXPRESSIONS

役立つ英語表現をまとめました。

### WARM-UP

日本語に引きずられないためのポイントをまとめました。

例文は大学生が日常生活で使う頻度の高いものを集めました。

### PRACTICE

- A** 聞き取り問題です。
- B** 穴埋め問題などです。
- C** 整序問題や穴埋め問題などです。
- D** 和文英訳の問題です。

(TODAY'S EXPRESSIONS や WARM-UP にヒントがあります。)

### COOL-DOWN

英語雑学のコラムです。

本書の編集にあたり、各種辞書類、文法書、参考書など数多くの文献を参考にさせていた  
だきました。本テキストはこれらの文献に負うところが多いことを記して謝辞といたします。

本書によって学生諸君が英語を学ぶ楽しさを感じ、さらに自主的に英語を学び直してみよ  
うという気持ちになってくれれば、私にとってこれにすぎる喜びはありません。

最後になりましたが、本テキストの編集・出版にあたり、いろいろとお世話になった青木  
泰祐氏に深く感謝いたします。また、Jim Knudsen氏にすべての英文をていねいにチェッ  
クしていただき、適切なアドバイスもたくさんいただきました。ここに記して感謝の意を表  
します。

2008年 初夏

著者

# Contents

## PART I

1	INTRANSITIVE VERBS (自動詞)	6
2	TRANSITIVE VERBS (他動詞)	10
3	TENSE (基本時制)	14
4	PROGRESSIVE FORM & PERFECT FORM (進行形・完了形)	18
5	PHRASAL VERBS (句動詞)	22
6	NOUNS (名詞)	26
7	ARTICLES (冠詞)	30
8	PRONOUNS (代名詞)	34
9	ADJECTIVES (形容詞)	38
10	ADVERBS (副詞)	44

## PART II

11	VOICE (態)	46
12	INFINITIVES (不定詞)	50
13	GERUNDS (動名詞)	54
14	PARTICIPLES (分詞)	58
15	PREPOSITIONS (前置詞)	62
16	CONJUNCTIONS & INTERROGATIVES (接統詞・疑問詞)	66
17	RELATIVES (關係詞)	70
18	COMPARISON (比較)	74
19	NEGATION (否定)	78
20	SUBJUNCTIVE MOOD (假定法)	82

## 1

## INTRANSITIVE VERBS

(自動詞)

## TODAY'S QUOTATION

Today is the first day of the rest of your life.

(Anonymous)

今日という日は残りの人生の第1日目である。

(作者不詳)

## TODAY'S EXPRESSIONS

- ① become a member of A 「Aの一員になる」  
Albert *became a member of* the softball team.
- ② I'm afraid. . . 「残念だけど…だと思う」  
I'm *afraid* I can't go with you.
- ③ work for A 「Aに勤めている」  
My father *works for* a company dealing in electric appliances.

## WARM-UP

## 1 「日本を出発する」 ≠ start Japan

英語の動詞の区別の中でも重要なのは、自動詞と他動詞の区別である。自動詞は、動詞の動作の対象となる目的語を必要としない動詞であり、他動詞は目的語を必要とする。動詞の中には、自動詞と他動詞の両方の働きをもつものも多く、start もその1つである。ここでは自動詞「出発する」で目的語をとらないため、start **from** Japanとなる。

例 ▶ She will *start from* Paris for London tomorrow.

## 2 「ホテルに着く」 ≠ arrive the hotel

英語の自動詞には、日本語に引きずられて他動詞と誤りやすいものがある。「到着する」という意味の arrive は自動詞であり、目的語をとる場合には、at や in が必要となるため、arrive **at** the hotel と表現される。このほか、他動詞と誤りやすい自動詞には、agree with ~ (～に同意する)、apologize to ~ (～にわびる)、reply to ~ (～に答える)、object to ~ (～に反対する) などがある。また、自動詞と他動詞で形の異なる動詞には、自動詞 lie (横たわる) — 他動詞 lay (～を横たえる)、自動詞 rise (上がる) — 他動詞 raise (～を上げる) などがある。

例 ▶ We *arrived at* Narita on the afternoon of February 14.

## 3 「バスで通学する」 ≠ go school by bus

英語では、文の構造を決定するという重要な役割をもっている動詞の性質によって、基本的には、5つの文型に分類することができる。自動詞を用いる文型は、第1文型（＜主語＋自動詞（＋修飾語句）＞）と第2文型（＜主語＋自動詞＋補語＞）である。補語は、主語や目的語が何か、どんな状態かを説明し、修飾語句は、主語、動詞、目的語、補語のそれぞれに細かい意味をつけ加える。第1文型で用いられる動詞の中には、liveやgoのように後ろに修飾語句を必ず必要とする動詞がある。goは自動詞で前置詞toが必要となり、「バスで通学する」は、go to school by busと表現される。

例 ▶ They lived in a beautiful small town by the seashore.

## 4 「沖縄のいとこ」 ≠ my Okinawa's cousin

修飾語句には、形容詞の働きをするものと副詞の働きをするものがある。「沖縄の」は「沖縄にいる」という形容詞の働きをする修飾語句in Okinawaを用いて表現できる。原則として、修飾語句が2語以上の場合、修飾される名詞の後ろに置くため、my cousin in Okinawaと表現される。

例 ▶ My aunt in Kobe is a good swimmer.

## 5 「そのレストランは角を曲がった所にある」

≠ There is the restaurant around the corner.

<There is [are]+主語+場所を表す語句>は「～に…がある [ある]」と、不特定の人や物の存在を表す。「そのレストラン」のように、「特定の人や物がある [ある]」という場合には、<主語+be動詞+場所を表す語句>を用いて、The restaurant is around the corner.と表現される。

例 ▶ Your watch is on the kitchen table.

## 6 「ほら、彼女が来たよ」 ≠ Here comes she.

<Here is [are]+主語>は、「ここに～がある [いる]」という意味だが、「ほら、～ですよ」と相手に物を手渡したり、提示する場合にも用いる。Hereの後ろには、<be動詞+主語>のほかに、<一般動詞+主語>がくることもある。また、主語が代名詞の場合には、<主語（代名詞）+動詞>の語順になり、Here she comes.となる。

例 ▶ Here comes our teacher.

## 7 「暗くなってきた」 ≠ Dark is getting.

「暗くなってきた」は、「明暗」を表すことのできるitを主語にして、It is getting dark.と第2文型（＜主語＋動詞＋補語＞）で表現される。第2文型で補語になるものは、名詞、代名詞、形容詞、動名詞、不定詞、分詞、句（＜主語＋動詞＞を含まないもの）および節（＜主語＋動詞＞を含むもの）などである。意味の上で、「主語(It)=補語(dark)」となる。

例 ▶ When it gets dark enough, you can see the stars.

PRACTICE

A 音声を聞いて、( ) を埋めなさい。  2

1. アグネスはテレビ局で働いています。  
Agnes is ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ).
2. A: 新聞を取ってくれる?  
B: はい、どうぞ。  
A: Will you get me the newspaper?  
B: ( ) ( ) ( ).
3. 残念ながらお手伝いできません。  
I'm ( ) ( ) ( ) ( ) ( ).
4. A: ひどい風邪なんだ。  
B: 早くよくなるといいですね。  
A: I have a bad cold.  
B: I hope ( ) ( ) ( ) ( ).

B 下の語群から ( ) 内に適当な語を入れなさい。

1. いつ探偵になろうと決めたのですか?  
When did you decide to ( ) a detective?
2. たくさんの虫が水中に住んでいる。  
Many insects ( ) in water.
3. カイロはエジプトの首都である。  
Cairo ( ) the capital of Egypt.
4. 君の夢はいつか実現するだろう。  
Your dream will ( ) true someday.
5. 何時に寝ますか?  
What time do you ( ) to sleep?
6. この時間帯、駅には学生がたくさんいる。  
There ( ) many students in the station around this time of the day.

[語群]

are/become/come/go/is/live

**C** 英文の誤りを正しなさい。

1. あなたの言うことには同意しません。

I don't agree what you say.

\_\_\_\_\_ → \_\_\_\_\_

2. その村には店が何軒かある。

There is several shops in the village.

\_\_\_\_\_ → \_\_\_\_\_

3. 月は東から昇り西に沈む。

The moon raises in the east and sets in the west.

\_\_\_\_\_ → \_\_\_\_\_

4. その村のほとんどの人がその計画に反対した。

Most people in the village objected the plan.

\_\_\_\_\_ → \_\_\_\_\_

**D** 日本語を英語に直しなさい。

1. アグネスは野球チームの一員になった。

\_\_\_\_\_

2. 昨夜うちの近くで大きな火事があった (There was~)。

\_\_\_\_\_

3. その列車は9月8日の午前中に上野駅に着いた。

\_\_\_\_\_

4. 北海道にいる私の叔父はスキーがとてもうまい。

\_\_\_\_\_

**COOL-DOWN**

村上春樹の作品は世界でも人気があり、*Norwegian Wood* (『ノルウェイの森』)、*Dance Dance Dance* (『ダンス・ダンス・ダンス』)、*A Wild Sheep Chase* (『羊をめぐる冒険』)などの翻訳書が各国の書店に並んでいます。ここで、英語に翻訳されている日本文学のタイトルの一部を紹介しますと、*No Longer Human*、*After the Banquet*、*And Then*、*The Broken Commandment*、*Essays in Idleness*、*The Pillow Book*などがあります。原題がすぐに思いつきましたか？正解は、太宰治『人間失格』、三島由紀夫『宴のあと』、夏目漱石『それから』、島崎藤村『破戒』、吉田兼好『徒然草』、清少納言の『枕草子』です。